

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	パネの森		
○保護者評価実施期間	R8年1月10日		～ R8年3月3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 26人
○従業者評価実施期間	R8年1月10日		～ R8年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や発達段階を踏まえた個別支援計画を作成し、職員間で共有しながら支援を行っている。日々の連絡帳や送迎時の情報共有、面談等を通じて保護者との連携を図り、子どもの状況について共通理解を持った支援を行っている。	日々の支援前後に職員間で打ち合わせや振り返りを行い、子どもの様子や支援内容について共有しながら支援の質の向上に努めている。	個別支援計画に基づいた支援の質をさらに高めるため、職員研修や専門的知識の習得の機会を継続的に確保する。
2	活動プログラムが固定化しないよう工夫し、土曜日活動や体験型活動(調理活動等)を取り入れながら、子ども同士の関わりや社会性を育む支援を行っている。	個別支援計画に基づき、子どもの特性や発達段階に応じた支援を行うとともに、活動プログラムが固定化しないよう体験活動や外出活動等を取り入れている。	活動内容の充実を図り、子どもの興味関心や発達段階に応じた体験活動を取り入れていく。
3	職員間で日々の打ち合わせや振り返りを行い、支援内容や子どもの様子を共有しながら支援の質の向上に努めている。また、事故防止マニュアルや避難訓練等の実施により安全管理体制の整備を行っている。	保護者との連携を大切にし、連絡帳や送迎時の情報共有、面談等を通して子どもの状況や支援内容について共通理解を図るよう努めている。	保護者との連携をさらに深めるため、面談や相談支援の機会を継続するとともに、情報共有の方法を工夫していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 2	地域の子どもの交流や地域活動への参加については機会が少なく、保護者アンケートでも「機会がある」との回答が少ない状況である。	地域の子どもの交流機会については、活動場所や安全面等の条件もあり機会が限られている状況がある。	地域資源の活用や外出活動等を通して、地域の子どもの交流機会の確保について検討していく。
2	保護者研修や家族支援の取り組みについて、実施している内容が保護者に十分周知されていない可能性がある。	保護者研修や家族支援については実施しているものの、参加状況や周知方法に課題があり、十分に伝わっていない可能性がある。	保護者研修や相談支援の機会について、通信や連絡帳、ホームページ等を活用して周知を行い、参加しやすい環境づくりを進めていく。
3	非常勤職員への情報共有や支援内容の伝達について、より円滑に行える体制づくりが必要である。	非常勤職員を含めた職員間の情報共有について、勤務時間や勤務形態の違いにより伝達方法の工夫が必要である。	職員間の情報共有体制を見直し、非常勤職員を含めた職員全体で支援内容を共有できる仕組みづくりを検討する。